

福祉

文化と品格を誇れる価値あるまちへ

子育て
教育

安心
安全

参加
協働

- 1 地域でつくる新たな支えあい
- 2 福祉と文化の融合
- 3 いつまでも元気あとおしみんどの手
- 4 みんなで育むハートフルな介護保険
- 5 いきいきワークでわくわく地域ライフ
- 6 つくろう福祉施設！住み続けられるまち

福祉

1 地域でつくる新たな支えあい

21年度事業費：74,959千円

【目標】

- 住み慣れた地域でその人らしい暮らしが続けられるような仕組みがつけられている。
- 公的なサービスだけでなく区民、ボランティア、NPO、地域の団体、民生委員・児童委員等が地域でネットワークを形成し、互いに支えあう環境の構築ができています。
- 認知症また判断能力の衰えた高齢者・障害者のため権利擁護に関する制度の周知・普及がされている。

【取組み方針】

- 既存の制度で支えられない人を支援するとともに、新たな共助の仕組みづくりを目指し区内8圏域の地域包括支援センターのうちモデル事業として、中央圏域にコミュニティソーシャルワーカーを配置する。
- 見守り協力員による見守り活動のほか、新聞販売店・郵便事業者等に呼びかけ、日常の配達業務の中で、異変を見つけたときに連絡する体制を整える。
- 認知症への理解・対策、障害者の権利擁護に関する制度について、周知を図り普及に努める。

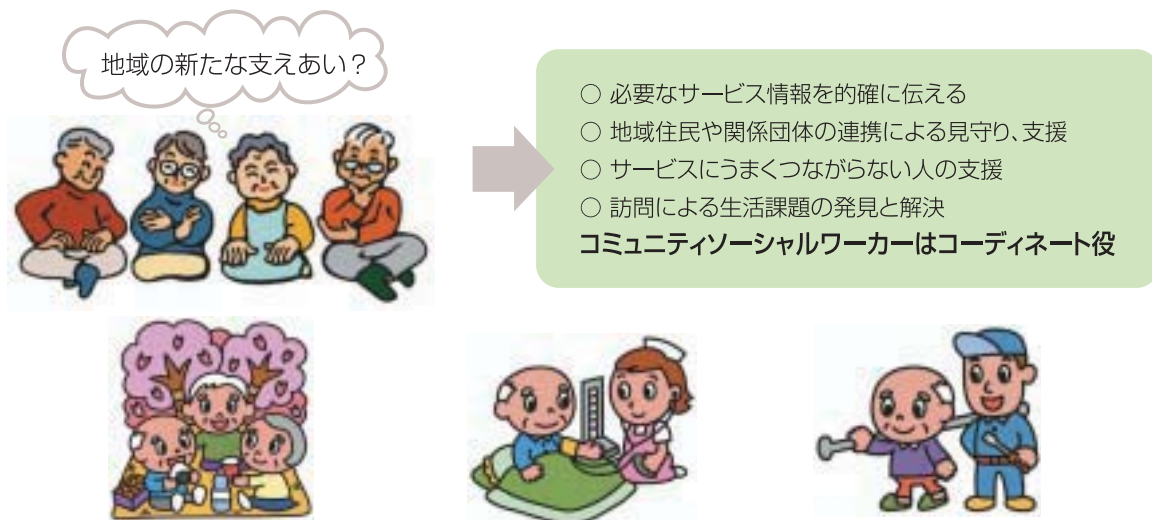
【主な事業】

〔※経費は21年度事業費総額、また、末尾「番号」は第7章の事業番号に対応〕

◆ コミュニティソーシャルワーカーの配置	(新規)	15,381千円	4
◆ 見守りと支えあいネットワーク事業	(拡充)	519千円	1
◆ 民生委員・児童委員事業	(継続)	33,006千円	5
◆ 福祉サービス権利擁護支援室運営助成事業	(継続)	19,397千円	14
◆ 高齢者虐待専門対応事業	(継続)	4,046千円	9
◆ 成年後見制度事業	(継続)	2,610千円	15

【チャレンジ指標】

指標名称	基準値 (19年度)	現在 (20年度)	4年後 (24年度)	目標 (27年度)
コミュニティソーシャルワーカー配置圏域数	—	—	4圏域	8圏域
見守りと支えあいネットワーク事業見守り件数	134件	148件	160件	180件
権利擁護支援室成年後見制度相談件数	562件	570件	650件	800件



21年度事業費：32,927千円

【目標】

- 高齢であっても障害があってもすべての人が文化に親しめる環境をつくり、真の意味でその人がその人らしく心豊かな生活が送れている。

【取組み方針】

- 高齢者や障害者の自己実現を支援するため、主体的に文化芸術活動に参加できるプログラムづくりに取り組む。
- 障害者などの創作活動と工賃増や就労に結びつけた事業を推進する。
- 文化芸術へのアクセス力の弱い方を支援する文化ボランティアなどを育成し、地域での文化芸術活動の活性化を図り、区民の自主的な文化活動を積極的に支援していく。

【主な事業】

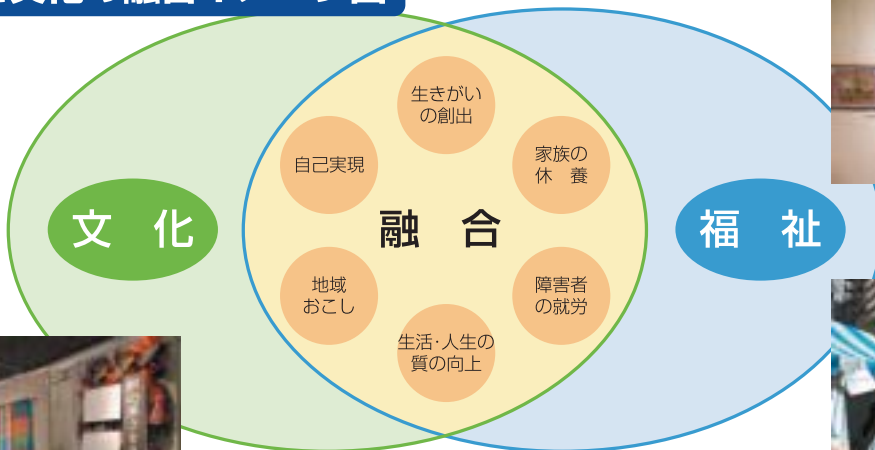
〔※経費は21年度事業費総額、また、末尾「番号」は第7章の事業番号に対応〕

◆ 障害者文化活動推進事業	(拡充)	3,225千円	42
◆ 駒込屋(さをり織り)製品の販売促進			
◆ 介護保険ライブラリーの設置	(新規)	11,000千円	41
◆ 【再掲】文化ボランティアの育成事業	(継続)	2,000千円	295
◆ 点字図書館障害者サービス事業	(継続)	16,033千円	312
◆ 「ふくしまつり」等事業	(継続)	2,669千円	2

【チャレンジ指標】

指標名称	基準値 (19年度)	現在 (20年度)	4年後 (24年度)	目標 (27年度)
介護保険ライブラリー 利用件数	—	—	2,000件	4,000件
ふくしまつり来場者数	9,762人	12,743人	14,500人	16,000人
さをり織り売上げ高	654,170円	680,000円	15%増	20%増

福祉と文化の融合イメージ図



【ときめき想造展(障害者美術展)】



【駒込屋 さをり織り作品展】
あうるすぽっとにて、駒込福祉作業所の利用者の作品展開催



【ふくしまつり】
人でにぎあう模擬店やバザー等

福祉

3 いつまでも元気あとおしみんなの手

21年度事業費：72,359千円

【目標】

- 高齢者の自主的な社会参加、地域貢献を支援することで、高齢者自身の介護予防・健康増進や地域の活性化につながり、元気で活動的な高齢者が増えている。

【取組み方針】

- 高齢者元気あとおし事業や地域支えあいサポーター育成等を実施することにより社会参加・地域貢献活動への参加意欲を高める。
- 高齢者クラブの相互見守り活動や介護予防自主グループの仲間づくりを進め、地域で相互に支えあえる仕組みづくりを促進する。
- 地域の活力の担い手としての高齢者の輪をひろげる。

【主な事業】

〔※経費は21年度事業費総額、また、末尾 [番号] は第7章の事業番号に対応〕

◆ 高齢者元気あとおし事業	(継続)	2,442千円	37
◆ 高齢者クラブ事業助成(見守り活動支援助成)	(継続)	22,786千円	38
◆ 地域介護予防活動支援事業	(継続)	465千円	39
◆ シルバー人材センター運営費助成事業(福祉家事援助サービス事業)	(拡充)	46,666千円	23

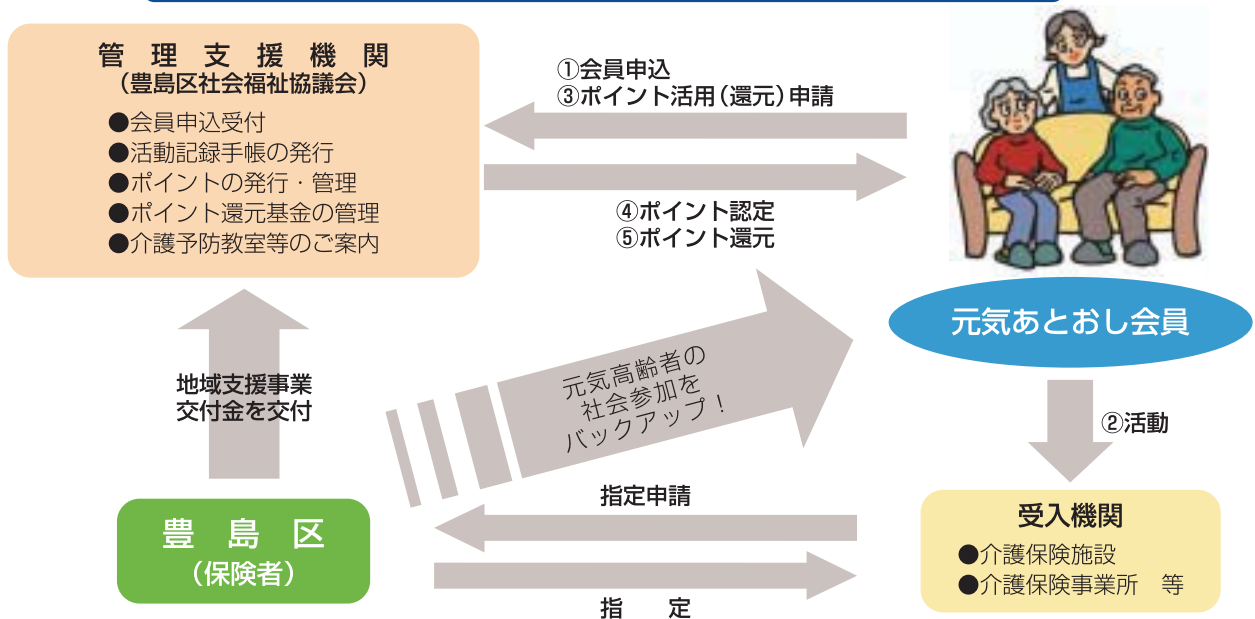
【チャレンジ指標】

指標名称	基準値 (19年度)	現在 (20年度)	4年後 (24年度)	目標 (27年度)
高齢者元気あとおし事業登録者数	—	110人	350人	500人
高齢者クラブ見守り件数	880件	880件	950件	1,000件
介護予防自主グループ数	17グループ	19グループ	25グループ	31グループ



【介護予防自主グループ交流会】

高齢者元気あとおし事業スキーム



21年度事業費：244,194千円

【目標】

- 高齢者が住み慣れた地域で自立した生活が営めるよう、地域の中核拠点としての地域包括支援センターが、高齢者や家族等を適確にサポートするとともに、各種の相談機能が充実されている。
- 介護サービス事業者への指導・育成により質の向上、給付の適正化が図られるとともに、制度の周知促進により良質な介護サービスが提供されている。

【取組み方針】

- 利用者のニーズに適確に応えられるよう、地域包括支援センターの機能を高めるとともに、専門相談員、町会・民生委員、介護サービス事業者等によるネットワーク化を促進し、地域での高齢者への支援を推進する。
- 区民への制度の理解を深めるための普及・啓発活動を促進するとともに、サービス事業者に対する指導・育成の強化、介護給付における適正化を進め、不正事業者へは厳格なる対応をもって、適確で安定した制度運営に取り組む。

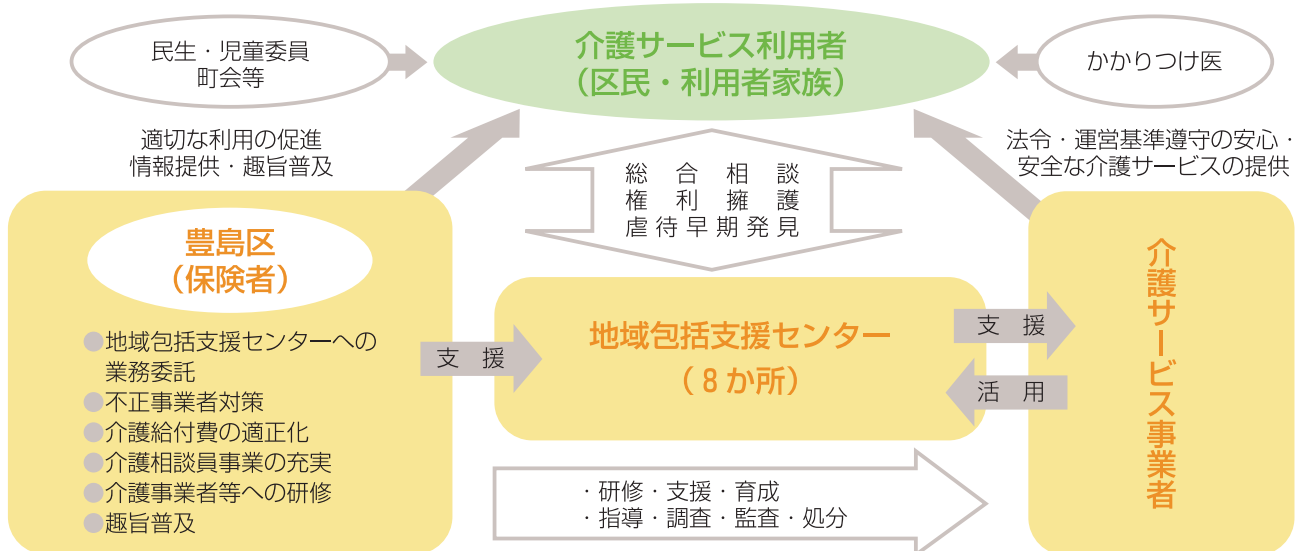
【主な事業】 〔※経費は21年度事業費総額、また、末尾「番号」は第7章の事業番号に対応〕

◆ 地域包括支援センター運営事業	(拡充)	231,320千円	8
◆ 介護相談員事業	(継続)	1,663千円	7
◆ 介護給付適正化・不正事業者対策事業	(継続)	9,740千円	16
◆ 介護事業者等の育成事業	(継続)	1,471千円	17

【チャレンジ指標】

指標名称	基準値 (19年度)	現在 (20年度)	4年後 (24年度)	目標 (27年度)
介護サービス事業所 個別指導件数	28件	60件	100件	150件
介護サービス事業所 育成・研修等件数	—	12件	20件	26件
相談件数(年間)	55,074件	73,950件	88,950件	100,350件

介護保険サービスネット



福祉

5 いきいきワークでわくわく地域ライフ

21年度事業費：38,096千円

【目標】

- 社会的入院をしていた精神障害者や施設に入所していた知的障害者が地域に移行し、就労移行支援や就労継続支援等施設に通所しながら一般就労を目指している。
- 福祉的就労施設利用者の工賃アップを図ることで、地域でより自立した生活が営まれている。
- 在宅障害者や福祉的就労施設利用者の一般就労が増加し、定着している。

【取組み方針】

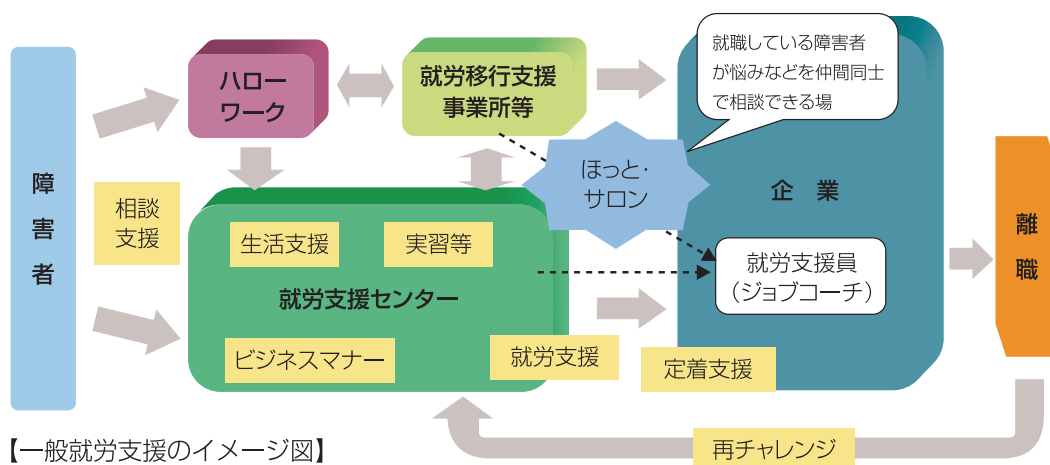
- 退院可能とされている精神障害者や施設から退所希望の知的障害者が安心して地域生活が送れるように、地域移行推進員を配置し、地域の関係機関と連携して地域生活の移行を促進する。
- 福祉的就労施設との協力事業である「としまブランドはあとの木」を充実させ、自主製作品の付加価値を高めるとともに、受注量の増加を図り、利用者の工賃アップを図る。
- 障害者就労支援センターの運営を強化し、就労支援員（ジョブコーチ）の充実を図る。また、就職している障害者が悩みなどを相談し合える場（ほっと・サロン）を提供し、定着支援を行う。

【主な事業】 ※経費は21年度事業費総額、また、末尾【番号】は第7章の事業番号に対応

◆ 障害者地域生活移行促進事業	(新規)	14,839千円	11
◆ 「はあとの木」運営支援事業	(継続)	2,511千円	30
◆ 障害者就労支援事業	(拡充)	18,690千円	27
◆ ほっと・サロン事業	(新規)	1,212千円	28
◆ 発達障害者支援検討会	(新規)	342千円	21
◆ 高次脳機能障害者支援対策事業	(新規)	502千円	22

【チャレンジ指標】

指標名称	基準値	現在 (20年度)	4年後 (24年度)	目標 (27年度)
障害者の地域生活への移行者数	退院可能な精神障害者数 100名(17年度)	13名	(累計)53名	(累計)60名
	福祉施設入所者数 193名(17年度)	14名	(累計)29名	(累計)35名
就労支援センターを経て就職した人数(短時間雇用を含む)	10名 (18年度)	12名	(累計)56名	(累計)104名
就職継続率(2年以上)	—	85%	85%以上を保つ	85%以上を保つ
「はあとの木」参加事業所の1人当たり平均工賃(月額)	8,203円 (19年度)	9,900円	17,400円	23,400円



【一般就労支援のイメージ図】

21年度事業費：158,950千円

【目標】

- 身近な場所に介護施設が整備され、高齢者や障害者が地域で、在宅で、より安心して暮らすことのできる環境が整っている。

【取組み方針】

- 大規模特別養護老人ホーム（100床程度）1ヶ所の整備をし、待機者の解消を目指す。
- 身近な地域で在宅の介護を支えるために、小規模多機能型居宅介護、認知症対応型通所介護、認知症高齢者共同生活介護等の地域密着型サービス施設を整備していく。
- 障害者のグループホーム・ケアホームを誘致する。
- 施設整備においては区有地を活用していく。

【主な事業】 〔※経費は21年度事業費総額、また、末尾「番号」は第7章の事業番号に対応〕

◆ 地域密着型サービス等の基盤整備	(継続)	152,950千円	44
◆ 福祉基盤等整備費助成事業（障害者グループホーム等整備費助成事業）	(継続)	6,000千円	45

【チャレンジ指標】

指標名称	基準値 (19年度)	現在 (20年度)	4年後 (24年度)	目標 (27年度)
特別養護老人ホーム整備数	8施設	8施設	8施設	9施設
地域密着型サービス整備数	19施設	*18施設	29施設	29施設
知的・精神障害者グループホーム・ケアホームの整備数	16施設	19施設	24施設	24施設

*夜間対応型訪問介護事業所が平成20年12月1日より休止となったため、1か所減。



【特別養護老人ホーム 菊かおる園】



【地域密着型サービス施設（小規模多機能型居宅介護施設）】